

# 四半期報告書

(第40期第1四半期)

自 2018年4月1日

至 2018年6月30日

**santec株式会社**

(登記社名 サンテック株式会社)

愛知県小牧市大字大草字年上坂5823番地

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

### 第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
3 経営上の重要な契約等	2

### 第3 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	3
(2) 新株予約権等の状況	3
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	3
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	3
(5) 大株主の状況	3
(6) 議決権の状況	4

2 役員等の状況	4
----------	---

### 第4 経理の状況

#### 1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9

2 その他	13
-------	----

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2018年7月31日
【四半期会計期間】	第40期第1四半期（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
【会社名】	s a n t e c 株式会社
【英訳名】	SANTEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鄭 台鎬
【本店の所在の場所】	愛知県小牧市大字大草字年上坂5823番地
【電話番号】	0568 (79) 3535 (代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 鄭 元鎬
【最寄りの連絡場所】	愛知県小牧市大字大草字年上坂5823番地
【電話番号】	0568 (79) 3535 (代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 鄭 元鎬
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第1四半期連結 累計期間	第40期 第1四半期連結 累計期間	第39期
会計期間	自2017年4月1日 至2017年6月30日	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2017年4月1日 至2018年3月31日
売上高 (千円)	1,313,581	1,028,776	4,609,205
経常利益 (千円)	366,970	138,494	714,146
親会社株主に帰属する四半期（当 期）純利益 (千円)	304,305	99,524	556,597
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	326,830	74,442	441,888
純資産額 (千円)	8,280,416	8,293,370	8,395,338
総資産額 (千円)	9,545,829	9,673,669	9,615,244
1株当たり四半期（当期）純利益 金額 (円)	25.87	8.46	47.33
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	86.7	85.7	87.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで。以下、「当第1四半期」）における世界経済は、欧米経済においては個人消費や設備投資の拡大により底堅く推移し、アジア・新興国経済においては先進国の景気拡大により輸出が持ち直すなど、総じて安定的に推移いたしました。しかしながら、当社の属する光通信業界においては、前年度下期より需給調整の動きがありました。

このような中、当社グループは、2019年3月期の基本方針として「新製品開発とグローバル営業推進加速」を掲げ、事業活動を展開してまいりました。

その結果、当第1四半期における売上高は、前第1四半期に製造現場向け波長可変光源売上が好調であったことに対する反動減により、1,028百万円（前第1四半期比21.7%減）となりました。これに伴い営業利益は、51百万円（前第1四半期比83.7%減）となり、為替差益50百万円を計上したことにより、経常利益は138百万円（前第1四半期比62.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、99百万円（前第1四半期比67.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 光部品関連事業

同事業におきましては、北米向けモニタ製品が安定的に推移いたしました。前第1四半期に好調であったデータコム向けフィルタ製品が減少したため、当第1四半期の売上高は343百万円と、前第1四半期の468百万円と比較して26.7%減少いたしました。セグメント損失は38百万円と、前第1四半期のセグメント利益98百万円に比べて悪化しております。

#### ② 光測定器関連事業

同事業におきましては、主に中国を中心とするアジア地域への製造現場向け波長可変光源の売上が、前第1四半期と比較して減少したことにより、当第1四半期の売上高は591百万円と、前第1四半期の712百万円と比較して17.0%減少いたしました。セグメント利益は70百万円となり、前第1四半期のセグメント利益206百万円に比べて減少しております。

#### ③ システム・ソリューション事業

同事業における当第1四半期の売上高は94百万円と前第1四半期の133百万円と比較して28.9%減少いたしました。セグメント利益は19百万円と、前第1四半期のセグメント利益11百万円に比べて増加しております。

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末（9,615百万円）に比べ58百万円増加し、9,673百万円となりました。これは、投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末（1,219百万円）に比べ160百万円増加し、1,380百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末（8,395百万円）に比べ101百万円減少し、8,293百万円となりました。これは、配当による利益剰余金が減少したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

#### (2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、150百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	37,755,200
計	37,755,200

###### ②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2018年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2018年7月31日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	11,961,100	11,961,100	㈱東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,961,100	11,961,100	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### ①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### ②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2018年4月1日～ 2018年6月30日	—	11,961,100	—	4,978,566	—	1,209,465

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2018年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

2018年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 200,400	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 11,759,300	117,593	—
単元未満株式	普通株式 1,400	—	—
発行済株式総数	11,961,100	—	—
総株主の議決権	—	117,593	—

(注) 上記「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式100株（議決権1個）が含まれております。

②【自己株式等】

2018年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
santec株式会社	愛知県小牧市大字大草 字年上坂5823番地	200,400	—	200,400	1.67
計	—	200,400	—	200,400	1.67

2【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当第1四半期累計期間における役員の異動はありません。

なお、当四半期累計期間終了後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動は、次のとおりです。

氏名	新職名	旧職名	異動年月日
鄭 元鎬	代表取締役副社長 (営業統括部門、海外事業統括)	取締役副社長 (営業統括部門、海外事業統括、 業務部門統括)	2018年7月1日
女鹿田 直之	専務取締役 (技術・生産・資材統括)	常務取締役 (光部品ビジネスユニット統括)	2018年7月1日

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



# 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,595,762	2,187,435
受取手形及び売掛金	842,777	891,302
電子記録債権	30,293	23,937
有価証券	105,206	220,021
商品及び製品	261,843	295,949
仕掛品	89,968	138,312
原材料	190,175	227,474
その他	56,318	93,855
貸倒引当金	△914	△1,384
流動資産合計	4,171,430	4,076,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 1,381,871	※1 1,368,348
機械装置及び運搬具（純額）	16,400	15,374
土地	※1 1,592,577	※1 1,592,577
リース資産（純額）	616	493
建設仮勘定	37,067	17,685
その他（純額）	138,046	162,362
有形固定資産合計	3,166,579	3,156,843
無形固定資産	26,816	24,216
投資その他の資産		
投資有価証券	2,211,663	2,374,691
その他	38,753	41,014
投資その他の資産合計	2,250,417	2,415,706
固定資産合計	5,443,813	5,596,765
資産合計	9,615,244	9,673,669

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 268,575	※2 427,245
未払法人税等	128,573	45,415
賞与引当金	9,099	44,644
その他	※2 315,007	※2 359,480
流動負債合計	721,255	876,786
固定負債		
退職給付に係る負債	454,469	459,084
資産除去債務	12,444	12,516
その他	31,736	31,911
固定負債合計	498,650	503,512
負債合計	1,219,906	1,380,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	2,470,648	2,393,763
自己株式	△97,374	△97,374
株主資本合計	8,561,305	8,484,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△117,104	△150,903
為替換算調整勘定	△48,862	△40,146
その他の包括利益累計額合計	△165,966	△191,049
純資産合計	8,395,338	8,293,370
負債純資産合計	9,615,244	9,673,669

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	1,313,581	1,028,776
売上原価	561,763	516,117
売上総利益	751,817	512,659
販売費及び一般管理費	435,006	461,087
営業利益	316,811	51,571
営業外収益		
受取利息	23,827	26,195
受取配当金	1,165	1,501
為替差益	14,565	50,880
その他	21,882	16,614
営業外収益合計	61,440	95,192
営業外費用		
支払利息	10	10
デリバティブ評価損	2,828	—
賃貸不動産関係費用	3,364	3,329
休止固定資産関係費用	5,073	4,930
その他	4	—
営業外費用合計	11,281	8,269
経常利益	366,970	138,494
特別利益		
投資有価証券売却益	26,927	—
特別利益合計	26,927	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	393,897	138,494
法人税等	89,592	38,969
四半期純利益	304,305	99,524
親会社株主に帰属する四半期純利益	304,305	99,524

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	304,305	99,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,623	△33,798
為替換算調整勘定	2,901	8,716
その他の包括利益合計	22,525	△25,082
四半期包括利益	326,830	74,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	326,830	74,442
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

- ※1 有形固定資産に含まれる重要な休止固定資産は次のとおりであります。なお、当該有形固定資産の減価償却費は営業外費用として計上しております。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
建物及び構築物	132,195千円	130,022千円
土地	53,033	53,033

- ※2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
支払手形	51,456千円	36,203千円
その他(流動負債)	1,792	223

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
減価償却費	35,612千円	37,575千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年6月21日 定時株主総会	普通株式	152,890	13.0	2017年3月31日	2017年6月22日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月20日 定時株主総会	普通株式	176,409	15.0	2018年3月31日	2018年6月21日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光 部 品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	468,205	712,171	133,204	1,313,581
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	468,205	712,171	133,204	1,313,581
セグメント利益	98,732	206,268	11,810	316,811

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光 部 品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	343,017	591,095	94,664	1,028,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	343,017	591,095	94,664	1,028,776
セグメント利益又は損失(△)	△38,307	70,851	19,027	51,571

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	25円87銭	8円46銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	304,305	99,524
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	304,305	99,524
普通株式の期中平均株式数(株)	11,760,774	11,760,657

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



# 独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年7月31日

s a n t e c株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柏木 勝広 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 久野 誠一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているs a n t e c株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、s a n t e c株式会社及び連結子会社の2018年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

## 【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2018年7月31日
【会社名】	s a n t e c 株式会社
【英訳名】	SANTEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鄭 台鎬
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	愛知県小牧市大字大草字年上坂5823番地
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長鄭 台鎬は、当社の第40期第1四半期（自2018年4月1日 至2018年6月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

## 2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。